

4 各種施設の組み合わせによる低コストな堆肥化の方法例

1 各施設の組み合わせによる堆肥化の方法

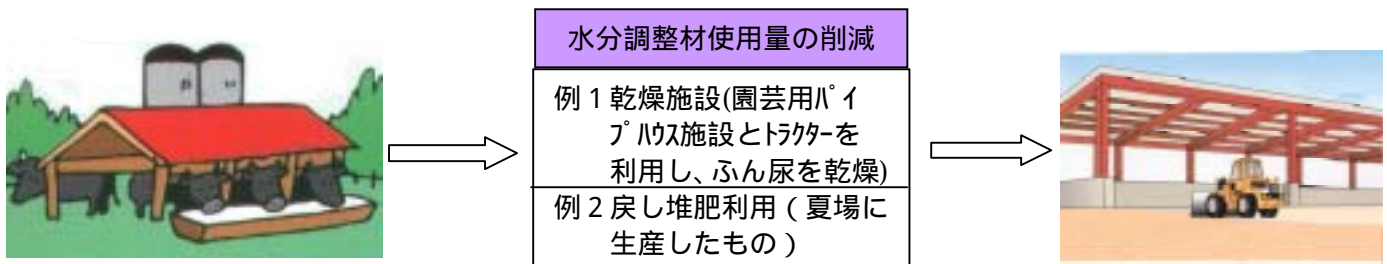
初期の水分調整及び最低限の発酵（50日程度）を堆肥化施設で行い、その後ほ場還元するまで被覆シート等で覆い管理する体系です。

施設名	タイプ区分		タイプ		タイプ		タイプ	
	堆肥化施設の種類	堆肥舎	パイプハウス堆肥舎	バンカーサイロ型堆肥化施設	シート保管施設	バンカーサイロ型堆肥化施設	シート保管施設	
 堆肥化施設 堆肥舎で切り返しによる発酵（50日間）	堆肥化施設の種類	堆肥舎	パイプハウス堆肥舎	バンカーサイロ型堆肥化施設	シート保管施設	バンカーサイロ型堆肥化施設	シート保管施設	
	m ² 当たり施設費	25,000円	18,000円	12,500円	2,000円	12,500円	2,000円	
	ふん尿 1 m ³ 当たり施設費	14,150円	10,170円	9,370円	2,900円	9,370円	2,900円	
 堆肥保管施設 シート利用の保管施設で保管（130日間保管）	保管施設の種類	バンカーサイロ型堆肥化施設	シート保管施設	バンカーサイロ型堆肥化施設	シート保管施設	バンカーサイロ型堆肥化施設	シート保管施設	
	m ² 当たり施設費	12,500円	2,000円	12,500円	2,000円	12,500円	2,000円	
	ふん尿 1 m ³ 当たり施設費	9,370円	2,900円	9,370円	2,900円	9,370円	2,900円	

注：金額はあくまでも目安です。

2 ふん尿処理コストの削減方法例

ふん尿を堆肥化するには、オガコ等を用い水分調整を行います。乾燥施設や戻し堆肥を利用することで、オガコの使用量や購入費が削減できるので、これも低コストなふん尿処理と考えられます。また、水分調整材の使用量を減らすことで、全体の処理量も少なくできます。



3 施設の設置費試算表（あなたの経営に必要な施設費はいくら？）

タイプ区分	飼養頭数	堆肥舎			堆肥保管施設			合計 = +
		面積 注1	単価 円	小計 = × × 円	面積 注2	単価 円	小計 = × × 円	
タイプ	頭	m ²	25,000	円	m ²	12,500	円	円
タイプ			18,000			2,000		
タイプ			12,500			12,500		
						2,000		

注1：搾乳牛3 m²/頭、肥育牛1.2 m²/頭、肥育豚1.4 m²/頭、採卵鶏1 m²/1,000羽を記入し計算してください。

注2：搾乳牛1.4 m²/頭、肥育牛4.9 m²/頭、肥育豚5.4 m²/頭、採卵鶏3.9 m²/1,000羽を記入し計算してください。